

その他の事業のその他におけるその他の装置、設備を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	14~15	祭り会場設営時、テントを組み立てる際に、パイプテント足脚を立ち上げる際、足脚パイプの折り畳み部分に右手薬指先を挿んでしまった。	42	—
1	9~10	自身の机からプリンターへ行く際にイスから立ち上がって振り向いた時に、背後の作業台に足を引っ掛け、身体ごと転倒し右手を床についた際に右手首を骨折した。	56	100~299
2	9~10	入口自動ドアを清掃中に電源の入っていないドアを閉めようとして自身の左手をドアに挟み負傷した。	65	—
2	14~15	本人は、会場から陸揚げされた観測ブイの点検調査を行うため、同僚と共にブイ上部の踊り場に上がり、踊り場床面のマンホールを開けて、本人がブイ内に入り、同僚は踊り場で作業を監視していた。本人はブイ内部にあるバッテリー格納室のマンホールを開けるため、固定ボルトを外し、バールを使用してマンホールを開けようとした時、バッテリー格納室内に充満していたと思われる可燃性ガスによる爆発が発生し、爆風により、被災した。	31	1000~9999
3	15~16	被災者は、当社で機密書類溶解処理作業補助業務に従事していた。減容機の停止に伴い（休憩のため）、出口に残っている解かれた紙が乾いて詰まってしまうのを防ぐため、バールで取り除こうとしたところ、バールと出口の金具の間に右手中指を挟み負傷した。	32	1~9
3	13~14	飲食店への什器備品搬入業務において、食器消毒保管庫（H1850mm×W1300mm×D530mm、206kg）の搬入作業中、搬入経路上で食器消毒保管庫内の付属品を取り出して台車上の位置を確認していたところ、肩が食器消毒保管庫にあたり、バランスを崩した食器消毒保管庫を支えたが支えきれ	47	50~99

		ず転倒し、食器消毒保管庫の下敷きになり、右足首骨折および右足甲裂傷を負った。		
3	18~19	本社3階のコミュニティールームにおいて研修を実施し、研修終了後に机を片付ける際、机の天板を折りたたもうとしたが、なかなか折りたたまず、勢い余って机が右足に転倒して負傷した。	23	—
3	11~12	金属製のベンチの上でポスター貼りの作業中、ベンチから降りる際に足を滑らせて転倒し、右手をつき、右手親指を負傷した（骨に異常なし）。	65	300 ~ 499
3	22~23	コンサート等の電源供給をしている際、現場である床下に電気取り出し口があるため、被災者は床の蓋（コンクリート製、約60cm四方、約20kg）を開けようとしていた。蓋の2か所の穴にフックをかけ持ち上げたところ、左側のフックが外れ、左足の上に蓋が落ちた。	35	10~ 29
4	16~17	閉店作業中、ヘラ等を洗浄するためシンクに置き、電気ポットのお湯を掛けようとしたところ、誤って右足にお湯をこぼし、右足に熱傷を負った。	25	10~ 29
5	14~15	飛行中に、ビジネスクラスの客室のリクライニング機能が故障し、他の乗務員2名と共に手動操作を試みた。2名が前方よりシートを引き、当該社員は後方から背もたれを全体重をかけながら左手で押し、右手はシートの電動ボタンを押しながら、何度もゆすりながら押ししてみた。電動シートを手動で操作するには、多大な力が必要であり、作業後に左手の親指の動きが悪くなり、痛みが発生した。乗務翌日には、肘、肩甲骨、首、肩にも痛みが発生した。	39	100 ~ 299
5	19~20	被災者は、接客業務中、客に呼ばれ景品を交換するためショーケースの扉を開けようとした時に、扉の持ち手部分を持ったが扉が全く動かず、端の方を持ち上げて動かしたところ、ガラス扉が右足に落下した。	20	50~ 99
6	17~18	上げ法要を終え、和室の控室を掃除機掛けしていた際、掃除機のコードが足に絡まり転倒し被災した。	58	30~ 49
7	8~9	事務所内にて、両手に荷物を持った状態で自分の席へ行こうと他職員の机の後ろを通った際に、少し急いでいたこともあり机のところにあった他職員のキャス	53	1~9

		ター付き椅子の脚に右足がつかずいてしまい、床に転倒して負傷した。		
7	17~18	工場内で作業中、成型ローラー機で作業をしていて誤って作業用手袋ごと引っ張られ、両手の人差し指、中指、薬指の先5~10mm程度の皮膚裂傷。	50	500 ~ 999
7	11~12	屋外で野積みしてある工業塩エリアにて老朽化した側壁の交換作業が予定されているためホースを使用し側壁にへばりついている塩の塊を溶かす作業をしていた。その際水で溶かした塩の塊(2m×2m)が崩れ落ち右足に当たり被災した。	44	30~ 49
7	15~16	エコウィルの装置撤去中にバランスを崩して尻餅をついた。その際、エコウィル装置が右足指付近に落下。	20	—
7	10~11	空調メンテナンス作業時、機械の上から降りようとしたところ(1mくらいの高さ)、作業服(またはズボン)が何かに引っ掛かり、上半身前のめりとなり、右足が体についてこなかった。結果、転倒し、右足2ヶ所を骨折した。	54	1~9
7	14~ 15	給食室内において、業務用濾し器(大型のボール、ザル、キャスター付きの置き場が付属したもの)に前屈みになりシートを掛けようとしたとき、キャスターに接触した。その際にキャスターが動いたため、体勢を崩し転倒し、左手首に重心がかかり骨折した。	69	1~9
7	14~ 15	Aブロック定期利用置場で、顧客対応中に自転車止め用パイプ(高さ40cm)に足を踏いたはずみで転倒し、その際に右膝を強打した。自転車止め用のパイプは、本来は跨いではいけないものと指導していたが、被災者はショートカットしようとして飛び越えようとし、その結果、引っ掛かって踏いてしまった。	74	1~9
9	19~ 20	勤務先である市役所技術員の休憩室で12cmの小上がりフローリングのテーブル上のメモを取って自席に戻ろうとした際、左足後ろの上履きのサンダルが段差に半分位しか残っていなく足を踏み外した形になった。咄嗟に椅子に手を伸ばしたがキャスター付きの椅子の為、回転してしまいその拍子に体勢を崩してしまい、椅子に左胸を強打したものである。病院に行き、肋骨が2本折れているとのことだった。	67	1~9
		店舗の金庫を左手で勢いよく締めたところ、右手でドアを支えていたため、右の		

9	19～ 20	親指が挟まってしまい負傷。痛みはあったが当日は遅かったので、翌日病院を受診、レントゲンをとったが骨に異常なし、その後、ヒビが入っているかもしれない、また爪の内出血もしており、痛みがひどいため、痛み止めを処方される。	36	10～ 29
9	22～ 23	エンジンから冷却水用ホースを取り外す作業を行っていた。パイプとホースが固着し、抜けにくくなっていたため、ホースを両手で持ち全体重をかけて引っ張った所、ホースが抜け、姿勢のバランスを崩し、後方に転倒しそうになり、右足を踏ん張った際に痛みが走った。精密検査結果、右腓骨筋腱脱臼	47	50～ 99
9	10～ 11	味噌作り研修中に大豆を大型圧力釜で蒸し作業中、蒸し所要時間の20分が経過を確認後、圧力釜の蒸気を抜かずに蓋を開放したため、釜内部の熱湯及び大豆が噴き出し、左大腿部付近を火傷した。	60	30～ 49
11	23～ 24	請負先事業場において、終業後帰宅するために事業場内倉庫を出口に向かい歩いていて、消灯されて真っ暗だったため、貨物用の秤があることに気が付かず、ぶつかって転倒してしまった。	47	30～ 49
12	13～14	支店内において、ロッカー（高さ180cm）の上に設置されているエアコンの大掃除をするため、事務用回転椅子に乗り、立ちあがって作業をしていた。掃除終了後、降りようとしたところ立ったままの状態でも椅子が回転し、そのまま椅子左側に落下し、左上腕骨頸部を骨折した。	60	1～9
12	9～10	オフィス内で大掃除の際、書類が多く積まれた棚板の上に立ち、踏み台代わりにして窓の上方を拭いていたところ、重さに耐えられなくなった棚板が突然外れ、1m程の高さから転落し、右足踵部を強打した。	32	30～ 49

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.aspx](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx)(職場のあんぜんサイト)

Return to：[https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206\\_11.html](https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html)